



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月12日

上場会社名 株式会社セイヒョー 上場取引所 東  
コード番号 2872 URL https://www.seihyo.co.jp/  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)飯塚 周一  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)安藤 力 (TEL) (025) 386-9988  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	2,814	15.2	129	30.2	134	40.8	108	40.7
2023年2月期第2四半期	2,442	—	99	△38.2	95	△42.8	77	△43.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年2月期第2四半期	円 銭 70.19	円 銭 —
2023年2月期第2四半期	円 銭 53.44	円 銭 —

(注) 1 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前事業年度の期首から適用しております。2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高の対前期増減率は記載しておりません。

2 当社は、2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年2月期第2四半期	百万円 3,176	百万円 1,593	% 50.1
2023年2月期	2,879	1,502	52.1

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 1,593百万円 2023年2月期 1,502百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	円 銭 17.00	円 銭 17.00

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年2月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。2024年2月期(予想)については、株式分割後の数値を記載しております。

### 3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	0.1	50	335.2	65	97.7	50	142.8	32.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	1,620,993株	2023年2月期	1,620,243株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	71,689株	2023年2月期	71,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	1,549,012株	2023年2月期2Q	1,445,634株

(注) 当社は、2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い、経済活動に緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、急激な為替相場の変動や、ウクライナ情勢の長期化といった不安定な国際情勢により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界においては、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇を反映した食料品の値上げが相次いだことにより消費者の節約志向が高まっており、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社は、厳しい環境の変化に対応するため、中期経営計画「Creative2024」において、「顧客満足度の向上」、「安定的な利益確保」、「ブランド力の向上による企業価値向上」という当社が目指すべき将来像を掲げ、全社一丸となって中期経営計画の達成に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の売上高は、主力のアイスクリーム部門において、新規取引先の開拓や既存取引先への拡販等の取り組みに加え、連日の猛暑が追い風となり、かき氷や新潟県内で高い知名度を誇る「もも太郎」、大容量のホームタイプアイスなど、自社ブランド品の販売が好調に推移いたしました。また、OEM受注についても堅調に推移しており、2,814百万円（前期比15.2%増）となりました。

損益面については、利益率の高い自社ブランド品の販売が好調であった反面、為替相場の影響等により原材料価格が想定を上回って推移しているほか、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰が利益を圧迫し、営業利益は129百万円（前年同期は営業利益99百万円）、経常利益は134百万円（前年同期は経常利益95百万円）、四半期純利益は108百万円（前年同期は四半期純利益77百万円）となりました。

なお、当社は夏季に集中して需要が発生するため、特に第2四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の分析

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ297百万円増加し、3,176百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少額49百万円、売掛金の増加額566百万円、商品及び製品の減少額227百万円等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は前事業年度末に比べ205百万円増加し、1,582百万円となりました。これは主に買掛金の減少額44百万円、短期借入金の増加額100百万円、未払金の増加額58百万円等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末に比べ91百万円増加し、1,593百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額82百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ49百万円減少し、523百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは27百万円の支出(前年同期は60百万円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益134百万円、減価償却費81百万円、売上債権の増加額566百万円、棚卸資産の減少額210百万円、未払金の増加額57百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは82百万円の支出(前年同期は94百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出80百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは59百万円の収入(前年同期は501百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の純増額100百万円、リース債務の返済による支出14百万円、配当金の支払額25百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、2023年4月14日に公表いたしました「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した内容から変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	573,341	523,659
売掛金	424,289	990,536
商品及び製品	420,120	192,676
仕掛品	4,671	6,481
原材料及び貯蔵品	106,097	121,384
その他	55,682	43,126
貸倒引当金	△4,169	△9,732
流動資産合計	1,580,032	1,868,132
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	341,424	325,285
機械及び装置（純額）	278,710	280,460
土地	224,792	224,792
リース資産（純額）	200,470	188,764
建設仮勘定	—	20,600
その他（純額）	71,692	84,542
有形固定資産合計	1,117,091	1,124,446
無形固定資産		
リース資産	2,502	1,476
その他	12,783	12,803
無形固定資産合計	15,285	14,280
投資その他の資産		
投資有価証券	68,900	77,486
その他	104,853	99,091
貸倒引当金	△7,052	△7,048
投資その他の資産合計	166,701	169,529
固定資産合計	1,299,079	1,308,256
資産合計	2,879,111	3,176,388

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	464,496	419,600
短期借入金	400,000	500,000
リース債務	27,563	27,608
未払金	54,133	112,595
未払費用	47,522	66,985
未払法人税等	10,193	32,594
未払消費税等	—	36,760
賞与引当金	31,640	45,765
その他	10,022	10,257
流動負債合計	1,045,571	1,252,167
固定負債		
リース債務	172,871	163,852
繰延税金負債	8,777	11,392
退職給付引当金	114,118	120,919
資産除去債務	15,120	15,122
その他	20,588	19,267
固定負債合計	331,475	330,554
負債合計	1,377,047	1,582,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	415,728	417,297
資本剰余金	222,385	223,955
利益剰余金	889,442	972,355
自己株式	△55,945	△56,364
株主資本合計	1,471,610	1,557,243
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,453	36,424
評価・換算差額等合計	30,453	36,424
純資産合計	1,502,063	1,593,667
負債純資産合計	2,879,111	3,176,388

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	2,442,337	2,814,865
売上原価	1,982,655	2,263,138
売上総利益	459,681	551,727
販売費及び一般管理費	360,318	422,276
営業利益	99,363	129,450
営業外収益		
受取利息	76	128
受取配当金	1,272	1,272
不動産賃貸料	7,104	7,118
受取手数料	651	439
雑収入	1,772	3,500
営業外収益合計	10,877	12,458
営業外費用		
支払利息	5,627	5,338
不動産賃貸費用	971	971
株式交付費	7,856	2
雑損失	—	710
営業外費用合計	14,455	7,022
経常利益	95,784	134,885
特別損失		
固定資産除却損	161	541
特別損失合計	161	541
税引前四半期純利益	95,622	134,344
法人税、住民税及び事業税	18,364	25,615
法人税等調整額	△0	—
法人税等合計	18,363	25,615
四半期純利益	77,259	108,729



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	95,622	134,344
減価償却費	75,831	81,839
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,293	6,801
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△405	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,657	14,125
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,151	5,559
受取利息及び受取配当金	△1,348	△1,400
支払利息	5,627	5,338
株式交付費	7,856	2
固定資産除却損	161	541
売上債権の増減額 (△は増加)	△622,015	△566,246
棚卸資産の増減額 (△は増加)	181,704	210,346
未収消費税等の増減額 (△は増加)	8,989	12,291
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,405	△14,170
仕入債務の増減額 (△は減少)	219,922	△44,895
未払金の増減額 (△は減少)	46,680	57,571
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,500	36,760
未払費用の増減額 (△は減少)	26,331	19,462
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	3,289	△128
差入保証金の増減額 (△は増加)	△66	△140
その他	△1,784	10,976
小計	66,594	△31,019
利息及び配当金の受取額	1,348	1,400
利息の支払額	△5,616	△5,335
補助金の受取額	—	8,160
設備負担金の受取額	—	3,796
法人税等の支払額	△1,858	△4,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,467	△27,150
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△86,190	△80,373
無形固定資産の取得による支出	△2,375	△2,370
その他	△5,898	337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,464	△82,405
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	220,000	100,000
リース債務の返済による支出	△11,541	△14,070
株式の発行による支出	△334	△2
株式の発行による収入	315,713	—
自己株式の取得による支出	△2,057	△419
配当金の支払額	△20,251	△25,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	501,527	59,874
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	467,531	△49,681
現金及び現金同等物の期首残高	213,760	573,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	681,291	523,659

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。